

① 日本文学



物語の奥深さと楽しみ方を知る

ココがおもしろい

読書が好きな人なら、一度は物語の世界に酔いしれたことがあるだろう。小説の世界に入り込むと物語の光景が頭に浮かび、主人公をはじめ登場人物が生き生きと動

きだす。文学は、私たち読み手の想像力をかき立て、「もっと読みたい」という読書欲を高める。

日本文学では、日本語で書かれた文学作品を研究する。作者の思いや時代背景、当時の人々の評価などを読み解けば、作品や作家の魅力がこれまで以上に、深く強く伝わってくるだろう。

② 外国文学



作品が書かれた世界に思いをはせる

ココがおもしろい

海外の文学作品を読むと、その国に暮らす人たちの生活や文化が見えてくる。知らない国であっても、作品を通じて、特有の文化や社会、人々を知ることができる。

外国文学では、作品が書かれた言語を理解し、原語で文学作品を読み進める。原語で読むと、作者の意図がより明確に理解できる。好きな作品を研究することによって得られる醍醐味^{だいごみ}は、日本文学も外国文学も同じ。友人や先生と、作品の解釈について論じ合うのも楽しみの一つだ。

③ 哲学・倫理・宗教



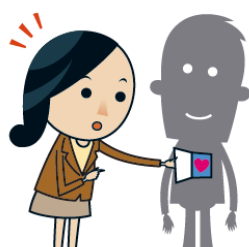
世の中の「なぜ」に対する答えを導く

ココがおもしろい

この世の中にある全ての物事や現象について、「なぜ」と問い掛けてみよう。「なぜ、私はここにいるのか」「なぜ、私は生きているのか」。哲学・倫理・宗教は、こ

の問いに対する答えを導く学問だ。過去の哲学者や宗教家が著した書物を読むと、歴史が繰り返される中でさまざまな考えが生まれ、人々に影響を与えたことがわかる。私たちも、先人たちの考えを「生きていくこと」に役立ててみよう。今、悩んでいる「なぜ」に対する答えが見つかるかもしれない。

④ 心理学



人間の心の動きを科学的に解明する

ココがおもしろい

心理学は、人間の心の動きを科学的に解明する学問だ。「考える・話す・聞く」といった人間の認知活動について研究する認知心理学から、集団の中で起こる心の変化

やしきみについて考える社会心理学まで、幅広い研究分野がある。私たちの何げない行動や言動の裏に隠されている心のメカニズムが、心理学的実験や調査、統計によって明らかになる。

また、心に苦しみを抱える人々を援助する公認心理師^{*}や臨床心理士をめざす道もある。

*心理職初国家資格である「公認心理師」を取得するには、受験資格の取得が必要です。大学の学部で指定された科目を履修のうえ卒業し、指定された科目を開設する大学院に進むか、省令で定めるプログラムを持つ施設で2年間の実務に就いた人に受験資格が与えられます。

5 歴史学



文献や史料から 史実が見えてくる

ココが面白い

大学で学ぶ歴史学は、単に年号や出来事を暗記するものではない。特定の地域や時代、テーマに注目し、その時代の文献を調べながら、歴史の姿を明らかにする。

例えば、紅茶は、かつては国の命運を左右する戦略物資だった。紅茶をキーワードに時代の流れを見ると、世界の見方が変わるのを感じるだろう。

歴史を学ぶ意味は過去を知るだけではない。「歴史学は未来学」といわれるように、過去から未来を展望できる魅力的な学問だ。

6 考古学・文化財学



遺跡や文化財を通して 歴史を知る

ココが面白い

歴史学が文献や史料からその時代を理解するのに対し、考古学では主に人類が残した遺跡や遺物などから、歴史を解明する。そのため、カリキュラムには「発掘調査」が

含まれている。文化財学は、文化遺産について幅広く探究し、文化財の種類や見方、保存・修復技術などを学ぶ。

祖先が残した遺跡・遺物を調査する楽しさは、この学問ならではの。出土した遺跡と史料を照らし合わせ、新たな歴史を発見する。どちらもロマンに満ちあふれた学問だ。

7 地理学



自然、人、街、 地域からわかること

ココが面白い

地理学は、特定の地域の土壌や地形、気候、水、風土などの自然を、その地域に住む人々の文化、社会、産業などと併せて研究する学問だ。暗記科目をイメージする人も多い

が、大学の学びは違う。自然や土地、そこに暮らす人々に基づいたテーマを設定し、フィールドワーク（実地調査）によって、土地と人間の関わりを明らかにする。土地、自然を切り口に、興味のある研究分野を見つけてみよう。自分なりに仮説を立て、実際に現地に行って確かめるおもしろさが味わえる。

8 文化学



信仰、道徳など多様な 「常識」を理解する

ココが面白い

文化とは人々が築き、育て上げてきたもの。日本に根付くものを「日本文化」と呼ぶように、世界各地には独自の文化がある。「文化」と定義できるものは、生活様式や

芸術、道徳、思想、民族、社会など多種多様。文化が違えば世界観も変わる。家族の形や信仰、道徳など、今まで自分が無意識に信じてきた「常識」が覆されることもあるだろう。人間のさまざまな姿を知ると、その豊かさに圧倒され、自分の属する文化を相対的に評価できるようになるはずだ。

9 外国語学



外国語を身に付け 異文化理解を深める

ココが面白い

言語を学ぶと、視界が一気に開けたような気持ちにならないだろうか。言語が人と人をつなぐツールだからこそ、その言葉を使う人々を理解する喜びが感じられ

るのだ。世界には、話者が数億人いる言語もあれば、数百人しかない言語もある。言語を習得することは、その背景にある文化や歴史を知ることでもある。

異文化を実際に体験し、語学力を高めるために留学して、将来は世界で活躍したいと希望する学生も多い。

10 日本語学



日本語を国際的視野から 捉え直す

ココが面白い

日本語を母語（幼児期に習得した言語）としている人が、日本語を学問的に理解しているとは限らない。よく「曖昧」「非論理的」といわれる日本語だが、その独特

の文法構造、論理や語彙などを、歴史からとったり他言語と比較したりして、日本語の本質に迫るのが日本語学だ。

国際的視野を持って日本語を教える方法を学び、世界中の日本語学習者に向けて、日本語と日本文化を伝えることができるのも魅力の一つだ。

11 言語学



構造を科学的に理解して 言語をマスターする

ココが面白い

言語学では、言葉の構造やしくみ、文法、発音・発声を理論的に解明する。また、語源についての歴史的な研究や、社会と言語の関わりを学ぶこともできる。言語を

論理的・科学的に捉えることによって、さまざまな学問領域に応用できるのも、言語学の特徴だ。

例えば、乳幼児が言語を理解する過程を解明することによって、教育学の発展につながる。また、言語構造を解明すれば、言語を理解するコンピュータの開発に生かすこともできるのだ。

12 法学



社会生活を 支える法を学ぶ

ココが面白い

「法律の文章はわかりにくい」と思うかもしれない。それは誤解のないように厳密に書かれているからだ。法学では、法的なものの見方（リーガルマインド）を身に

付け、法文を読みこなし、社会の良識に基づき、過去の判例を根拠に法の運用を学ぶ。法律は法曹だけでなく、社会全般に必要な。

著作権や肖像権、個人情報保護など、ビジネスでも法学の知識は必要とされている。ルールを通して公正な社会に貢献できるのが法学の魅力だ。

13 政治学



よりよい暮らしの 実現を考える

ココが面白い

自分が住んでいる地域を観察してみよう。ごみの日にはごみが回収される。道路が整備され、移動が可能になる。義務教育を無料で受けられる。これらは全て、政治

の成果だ。今の政治に不満を持っている人は、「さらにより町にするには、どんな政治が必要だろうか？」と考えてみよう。

「よい町とは何か」を考えるのが政治思想であり、「どう実現するか」を考えるのが政策・行政だ。私たちの未来を考えることにつながるのが政治学の魅力だ。

14 経済学



経済現象に注目して 社会の不思議を読み解く

ココが面白い

経済学を学ぶと、社会の動きが見えてくる。私たちの暮らしは、お金、物や人の動きによって成り立っているからだ。「なぜ、景気が悪くなるのだろうか?」「日本は

食料自給率が低いのに、お店に食料がたくさん置いてあるのはなぜ?」——経済学の理論を使えば、日々の生活で何げなく感じる疑問を解き明かすことができる。

身の回りのことから外国で起きていることまで、経済現象の全てが研究対象となる。経済学は身近で、かつ壮大な学問だ。

15 経営・商学



組織を動かし、事業活動で 成果を上げる方法を考える

ココが面白い

企業のしくみに着目してみよう。売り上げから経費を除いた利益を再投資して、より大きな会社へと成長させる。経営陣は経営の方針を決め、経理部の社員は金銭の動

きを管理する。企業経営は、人、物や、お金を動かすことで成り立っている。企業がどのように利潤を上げるのか調べるのがこの学問だ。会社経営には、会計や金融の知識も必要になる。実生活にどのように役立っているかを知ることによって経営学を身近に感じることができる。

16 経営情報学



コンピュータ技術で 経営を支える

ココが面白い

現代では当たり前のように使われているIT技術（ソフトウェア）が企業組織に導入されたのは、比較的最近のことだ。多くの企業が業務の効率化を図るために、企業

経営にIT技術を活用する方法を検討し、導入してきた。今やIT技術なしの経営は考えにくい。経営活動に役立つ情報を的確に入手し、それを基に、経営状態の分析を行う。IT技術をいかにして経営に役立てるのか、その可能性をさらに広げるのが経営情報学の魅力だ。

17 社会学



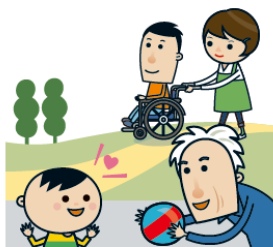
変化する社会の姿を 統計や調査で明らかにする

ココがおもしろい

社会はとても複雑だ。その理由は、暮らしている人々の思いや、その地域特有の文化、経済など、さまざまな要因が絡み合い、社会をつくり上げているからだ。社会

学では複雑な構造を持った社会と人との関わりについて、さまざまな調査手法を用いて答えを導く。その方法は、フィールドワーク(実地調査)とそこで集めたデータの分析だ。分析結果から見えてくるのは、人々の意識そのもの。私たち自身を知ること、社会学を学ぶおもしろさがある。

18 社会福祉学



誰もが生き生きと 生活するために福祉を学ぶ

ココがおもしろい

現代の日本では、人は生まれたときから、さまざまな福祉の援助を受けて生きている。例えば、保育園は児童福祉法によって定められた施設だ。高齢者には訪問介護

やデイサービスなど、健やかな生活を可能にするサービスがある。

社会福祉学では、町にどんな人々が暮らし、どんな福祉を必要としているかをベースに考える。誰もが笑顔で、生き生きとした毎日を送ることが、社会福祉学の究極の目的となる。

19 観光学



観光に関わる全ての 人々の幸せを考える

ココがおもしろい

行ったことのない土地を旅行で訪れる。観光は、私たちの心をわくわくさせてくれる素晴らしいレジャーだ。観光学は、そんなわくわく感を演出する方法について学

ぶ学問だ。

観光する側の視点だけでなく、観光業に携わる人や観光地に住む人の視点からも、観光について考えることが必要となる。観光学は、観光心理学や観光経済学、観光経営学などの科目を履修して知識を深め、観光に関わる全ての人々が幸せになれる方法を考える。

20 マスコミ学



マスコミの可能性と あるべき姿を探る

ココがおもしろい

マスコミとは、マスコミュニケーションの略語。「不特定多数の人々に情報を伝えること」を意味し、新聞、雑誌、テレビ、ラジオなどを「マスメディア」という。

マスコミ学を学ぶと、マスメディアが社会と人々に与える影響の大きさに気づくだろう。インターネット上のSNSなど個人でも発信できる新たな伝達手段が生まれ、多様化したメディアの可能性と使命は、どこにあるのだろうか。マスコミの現状と照らし合わせて、自分なりの答えを見つけ出そう。

21 国際関係学



平和な世界をめざし 各国の架け橋となる

ココがおもしろい

国と国との関係はあまりに複雑でスケールが大きく、問題も山積みだ。「世界の貧困をなくしたい」「争いのない平和な世界にしたい」——その思いは同じでも、国や人

によって利害関係も違い、解決方法も無数にある。解決にあたっては、異なる価値観を持つ国々が互いの意見を認め合うことが不可欠だ。そのためには、関係各国の背景にある文化、政治、経済、歴史を深く理解する必要がある。国際関係学を学ぶことは、国と国との架け橋となることだ。

22 教員養成系



学校教員として 何ができるかを考える

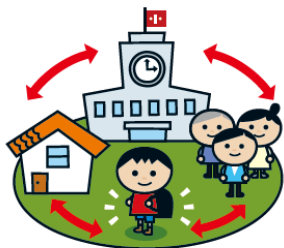
ココがおもしろい

教育原理や教育心理学などの基礎科目や、授業の進め方を学び、教科教育法によって各教科の理解を深めた後、教育実習を行う。実習先では、授業を行うだけでなく、

部活動をサポートしたり、児童・生徒からの相談に応じたりと、教育活動全般を任される。最初は緊張するかもしれないが、やがて「児童・生徒の成長を支えている」という充実感が生まれてくる。

教育の現場をつぶさに見つめ、「教員になったら、自分に何ができるか」を考えることで成長する。

23 教育学



誰もが学べる社会を つくる

ココがおもしろい

いじめや学級崩壊、不登校にモンスターペアレンツなど、教育に関するさまざまな問題に向き合い、解決方法について考える。

外国の教育と日本の教育を比較

して解決の方法を見つけることや、教育制度を見直し、新たな制度をつくるための研究を行うこともある。まずは教育に関する知識を吸収することが学びの第一歩となる。視野を広げ、旺盛な好奇心で研究に取り組むことが必要だ。誰もが学ぶことの幸せを感じられる社会をめざす学問である。

24 その他教育学



社会人の学びを支え 地域に貢献する

ココがおもしろい

通信教育や社会人の学び直しなど、生涯学習の場は多種多様だ。人々の「学びたい」という意欲に応え、生涯学習を支えることがその他教育学の目的となる。

「生涯学習を通じて何ができるか」を考え、文化やスポーツなどを通して地域の人々の人生を豊かにするための方法を学ぶ。そのほか、日本語教育を通して日本在住の外国人の諸問題を解決に導くことも含めて、生涯学習の果たす役割は大きい。

25 生活科学



家族や生活の問題の 解決方法を考える

ココがオもしろい

生活科学の領域は、広く生活全般にわたっている。育児や介護について考えることもできるし、心や体の発達について研究もできる。「快適な生活って何だろう？」

と追究したり、環境の視点から「よりよい生活」について考えたりすることも可能だ。共通しているのは、生活に焦点を当てていること。家族や生活を中心に、福祉や経済、環境など、周辺の学問の知識を取り入れて、「暮らしをさらによくする方法」を考えることがこの学問だ。

26 食物・栄養学



より豊かに健やかに 食生活のあり方を学ぶ

ココがオもしろい

食物・栄養学を学ぶと、年齢や性別、発達の度合いによって必要な栄養量が違うことや、食が人々の健康と深い関わりを持っていることがわかる。そして、日々の食

事をおいしく食べることが、人生をより豊かにしていることも理解できる。

食物・栄養学の目的は、必要な栄養をバランスよく取る方法について考えることだけではない。健やかな生活を支えると同時に、人々の生活に彩りを添える——そんな役割を果たす学問だ。

27 被服学



衣服の制作や 流通を学ぶ

ココがオもしろい

被服学の研究に必要な知識は、衣服の素材となる繊維・染色から、デザイン・縫製する技術、被服の歴史、流通などのビジネスまで多岐にわたる。これらの知識を生か

し、デザイン性の高い作品の制作を行う人もあれば、ファッションビジネスをテーマに研究する人もある。美や流行と関連の深い学問であり、「おしゃれが好き」という思いを抱いて、研究や制作に打ち込む学生も多い。ファッションショーなどの学内イベントを行う中で、知識や技術を高められる。

28 児童学



子どもの発達を研究し 未来の社会を支える

ココがオもしろい

子どもの発達について科学的に研究するのが児童学だ。心と体の発達について学ぶほか、保育や教育、福祉や文化など、さまざまな関連知識を学ぶ。

保育士の養成課程を設置している大学では、保育園や小学校などでの実習が必須だ。

児童学は子どもの未来を支える学問であり、広く捉えれば、未来の社会そのものを支える学問ともいえる。社会的意義の大きな学問であり、私たちの未来のためになることが大きな魅力だ。

29 住居学



住み心地のよい住居とは何かを考える

ココが面白い

住まいは人間生活の拠点である。人は普段の生活の中で、家具を適切に配置したり、飾り付けたりして、暮らしやすい住まいを追求している。こうした「生活者の暮ら

しやすさ」の観点から住居について考えるのが住居学だ。住生活や生活環境、住居デザイン、住居管理などを中心に知識を深める。

設計・製図の実習もほぼ必須であり「高齢者に快適なキッチン」をテーマに家の図面を描くこともある。イメージを形にして、生活に役立てられるのも魅力の一つだ。

30 美術・デザイン



作品制作に自分らしさを込める

ココが面白い

絵画や彫刻、イラスト、グラフィックデザイン、空間デザイン、工芸や染織、陶芸などを学びたい人のための学問。基礎的な技法を修得し、その後作品制作をメイン

に行う。

大学では、作品を創る環境が整っているので、自分の部屋には収まり切らない巨大な作品の創作も可能だ。仲間と一緒に共同制作するのも楽しい。表現の枠を取り払い、感性の赴くまま「自分らしい作品」を制作することが魅力の学問だ。

31 音楽



美しい音楽と、その表現方法を追究する

ココが面白い

音楽系の学科では、声楽や器楽、作曲などの専攻に分かれ、専攻した分野を究めていく。

楽譜を読む力を身に付けるソルフェージュや、音楽の成立・発展

について学ぶ音楽史など、音楽表現のベースとなる知識を学び、音楽作品を解釈する力を高める。

個別レッスンで表現力に磨きをかけ、オーケストラや室内楽などのアンサンブルを重ね、表現の幅を広げる。古今東西の音楽作品や作曲技術を学び、独自の新しい音楽を追究するおもしろさがある。

32 芸術理論



芸術が人の心を揺さぶる理由を探究する

ココが面白い

美術作品について研究すると、時代によって捉え方が違うことに気づくだろう。生前は評価されなかった作品が、作家が亡くなった後に価値が高まることもある。時

を経て、忘れ去られてしまう作家もいる。人々の美に対する考え方が変わると芸術観も移り変わる。

芸術理論では、「芸術って何だろう?」と突き詰めて考える楽しさがある。たくさんの芸術作品に触れ、美の意味、美が生まれる源、美の価値について探ることができる。

33 その他芸術



新しい表現の可能性を探る

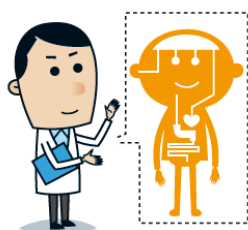
ココが面白い

テレビやラジオの番組、映画に演劇、写真、小説、広告、建築、書道、アニメにWebデザインなども、芸術作品だ。美術・デザイン系の学科と同じように、基礎となる知識

や表現技術を身に付けた後、作品制作に取り掛かる。

「創作や表現の喜びを感じられる」という点は、美術・デザイン系や音楽系の学科と同じ。世の中の流行や新しい表現方法を取り入れるなど、自分なりに工夫を凝らしながら、表現の可能性を追求することができる。

34 人間科学



人間の存在そのものを解明する

ココが面白い

サッカーの試合で、ホームとアウェーでは、選手のモチベーションはどのように変わるのだろうか。ファンの応援を受けると、生き生きとプレーできるように見えるの

はなぜだろう。

人間そのものを研究する人間科学では、このような人間にまつわる「なぜ」を、実験や調査から科学的に解明し「人間って何だろう？」という、一言では答えられない問いの答えを探す。人間を少しでも理解するため、人間の存在について解明する学問だ。

35 総合情報学



情報をテーマに幅広い領域を学ぶ

ココが面白い

現代は情報社会。あふれる情報をいかに管理・活用するかが大切だ。どのようにして必要な情報を集めるか。集めた情報を、どんな手法で加工・分析するのか。そして、

研究したい対象に、どのように役立てることができるのか。総合情報学では、情報処理や統計学、画像処理、情報文化学、情報経済学など関連する学問を学びながら、情報の収集・加工・分析方法を身に付けていく。将来、活躍できる分野が幅広いのも、この学問の特徴だ。

36 総合科学



多角的に物事を捉え問題を解決する

ココが面白い

現代社会の問題を、複数の学問知識を生かして多角的に捉えることによって解決策を探る。例えば、環境保全を考えるには、森林科学などの知識が不可欠な一方で、規

制法案などの法整備や政策決定の知識も必要だ。また、地域の発展のために森林資源の伐採が必要な場合、経済学や経営学の視点も無視できない。

総合科学の最大の魅力は、文・理の枠を超えて問題の解決策を考える点だ。好奇心を持って幅広い知識を身に付ける喜びがある。

37 看護学



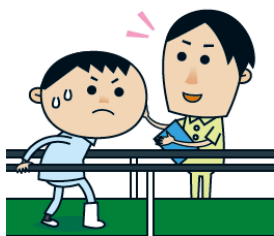
“患者のために”という 思いを育む

ココが面白い

看護学で学ぶ領域は、看護現場で実践する知識や技術だけではない。その土台となる「患者のために」という思いを育むことも大きな目的だ。

授業は主に講義と実習に分かれる。どちらも技術だけでなく、患者に接するときの心を育むことを大切にする。患者が健康を取り戻すために必要なものだからだ。医学や薬学、社会福祉学などと連携し、チーム医療の一員として、患者を思う気持ちを忘れずに抱き続けることが看護学の真髄だ。

38 医療技術



専門的な技術を 医療に役立てる

ココが面白い

医療の現場では、さまざまな医療技術が用いられている。例えば、血液などを採取して病気の原因を突き止めたり、放射線を照射してがんを治療したり、リハビリテー

ションを行って身体機能の回復を促したりする。医療技術関連の仕事は、診療放射線技師、臨床検査技師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士などがある。めざす職業に直結した学部・学科で、必要な知識と技術をしっかり学ぼう。いずれも、「患者の健康を支える」という喜びを味わうことができる。

39 体育・ 健康科学



スポーツを軸に 健康について考える

ココが面白い

体育・健康科学は、スポーツを軸に人々の健康を追求する学問だ。特定の競技を専攻して、競技者としての技術を高めながら、競技者を支える指導者やトレーナーにな

るためのスキルを身に付ける。さらにスポーツ選手の心理について学び、スポーツと健康の関わりについて探る。

研究対象はプロのスポーツ選手だけではない。健康長寿社会の実現をめざし、あらゆる人々が健康的に暮らすための方法を考えることも必要だ。

40 保健学



健康に関わる社会問題の 解決法を考える

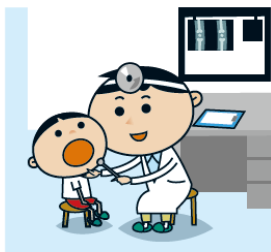
ココが面白い

保健学は、統計学・社会学・栄養学・心理学などの知識を生かして、健康について考える学問だ。例えば統計学の知識を生かせば、病気にかかっている人の年齢、性

別、居住地域などの情報を用いて調査・分析することができる。心理学的なアプローチで、いじめや虐待などの問題について考えることも可能だ。

社会で起こっているさまざまな健康の問題について調べ、その解決策を探ることが、保健学を学ぶスタートラインとなる。

41 医学



人間の体と治療法を学び 新たな治療法も開発する

ココが面白い

医学の学びの領域は生理学や人体解剖学、病理学、生化学などの基礎医学から、呼吸器や循環器といった各領域に関する知識、病気の治療法まで膨大だ。

また、医師としての倫理観や、患者の立場に立ったコミュニケーションについても学ぶ。

臨床実習では実際に患者を担当して、病状の経過を観察したり、助手として治療方針などを考えたりする。

このほか、大学や研究所で基礎医学研究に取り組む道もある。

42 歯学



口の中から体全体の 健康づくりをめざす

ココが面白い

欠けた歯や抜けてしまった歯は、二度と元に戻らない。ブリッジや入れ歯などを用いて、形や機能を回復させる必要がある。歯を失うと食べ物を正常にかめなくなり、

別の病気を引き起こす原因にもなるからだ。

近年は治療だけでなく、虫歯予防や歯並びの美しさをめざす矯正など歯科医の領域は広がっている。歯のかみ合わせが全身のバランスに影響することも明らかになり、人々の健康に歯学が果たす役割はますます大きくなっている。

43 薬学



薬学の知識を応用して 化粧品や食品の研究も

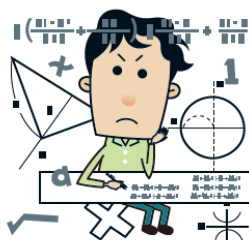
ココが面白い

薬の処方を通して、患者の回復に寄与する薬剤師をめざせるのが薬学の大きな魅力だ。副作用の少ない薬や、いまだに治療法の見つからない病気を治す薬を開発

する創業の道を志すこともできる。自分の研究がいつか臨床に生かされるかもしれない。

化学や物理など、幅広い学問領域をカバーしているため、化粧品や薬用食品などといった関連分野の研究に応用することもできる。興味・関心に合わせて、自由に研究範囲を広げられるのが魅力だ。

44 数学



一つの数式を前に 議論を交わす楽しさ

ココが面白い

大学で学ぶ数学は、高校のように、既に定理が解明されている数式を解くものではない。まだ解明されていない数式を解き、定理が導き出された理由について考える

ことが、研究の主体となる。

数学を専攻する学生は、「数式を解くことそのものが楽しい」と感じるのはもちろん、論理的に解法を組み立て、答えを導き出すプロセスそのものを楽しむ。難解な数式を前に、仲間や先生と議論を交わせるのも、大学で数学を研究する醍醐味のひとつだろう。

45 情報科学



情報の理論を応用して 興味あるテーマを追究！

ココがおもしろい

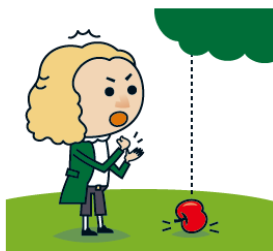
代数学、幾何学、解析学や統計学など、数学の知識をベースに、情報について研究するのが、この学問だ。プログラミングやデータベースの理論、アルゴリズム*理

論などを学びながら、コンピュータの原理や情報の理論を体系的に理解する。こうして基礎を十分に理解した後、学んだ理論を応用して研究を進めていく。

例えば、知能情報処理をテーマに選ぶと、人間のような知的処理をコンピュータに行わせるAIについて研究することができる。

*コンピュータを動かすための規則

46 物理学



自然現象と向き合い その謎に迫る

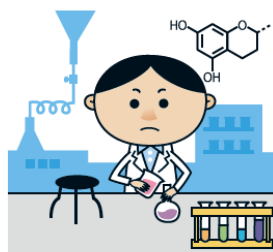
ココがおもしろい

物理学は、自然現象の法則や原理を解明する学問だ。物理学の基礎となる力学、電磁気学、熱力学、量子力学、統計力学を学び、まだ解明されていない自然界の謎に迫

る。物質を構成する素粒子や物質間で熱がどう伝わり、物体間で力はどう作用するのか。いずれも、この宇宙がどんな法則で動いているのかという命題が根底にある。

物理学の研究を通して、その命題に真正面から向き合うと、充実感を覚えるだろう。それが物理学を学ぶおもしろさだ。

47 化学



物質の性質を知り その化学反応を探究

ココがおもしろい

化学は、物質の構造や性質、変化、反応などを研究する学問。分子レベルや原子レベルで観察・分析し、その性質を解明していく。物質そのものを理解するほか、化学反応

のしくみを解明したり、物質と物質を組み合わせる新たな構造の化合物を作ったりもする。

化学の研究は、試行錯誤の繰り返しだ。仮説を立てて実験をしても、予測と違う結果が出ることもある。こうした研究の積み重ねの中で、新たな発見をしたときの喜びは格別だ。

48 生物学



生命の神秘に触れ 生命の本質に迫る

ココがおもしろい

地球上に存在するあらゆる生命を対象とした学問。遺伝子、細胞、組織や生態など、さまざまなアプローチにより、生命が成り立っているしくみを研究する。

実習で海に生息する生物を観察したり、森の中で植物の生態を学んだり、研究室から出て学ぶこともできる。観察を続けていると、想像をはるかに上回る“生き物の特性”と出合えるかもしれない。

生命の神秘を感じつつ、生命の本質に迫る。生物学だからこそ味わえる学びの楽しさだ。

49 地球科学



研究範囲は地球を超えて宇宙へと広がる！

ココが面白い

46億年前に誕生した地球。地球科学はその名のとおり、地球や天文を研究する学問だ。地層、プレート、地震、火山、鉱物や気象・気候などの研究を通して、地球のメ

カニズムを明らかにする。フィールドワーク（実地調査）を行って、地球の“今”を観察する機会もある。

地球だけでなく、宇宙や天体も研究範囲だ。さまざまなデータから、宇宙誕生の謎に迫ることもできる。地質学、化学、物理学や生物学など、さまざまな学問の知識を生かせるのも、地球科学の特徴だ。

50 総合理学



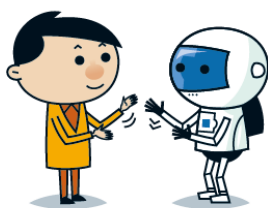
複数の学問を横断し複合的な問題を解決

ココが面白い

理系の学問は細分化が進み、研究分野が狭くなる傾向がある。しかし近年、一つの分野だけでは解決できない学問テーマが増えている。総合理学は、自然科学全般の

知識や研究手法を組み合わせ、複合的に問題を研究できる。例えば、人間に近い知能を持つコンピュータを作るには、コンピュータの知識だけでなく、人間の脳神経の働きを知ることが必要だ。さまざまな分野の知識を総合して、新たな課題を解決できるのが、総合理学のおもしろさだ。

51 機械工学



ものづくりの楽しさを心ゆくまで体験する

ココが面白い

機械づくりで社会と関わりたいのなら機械工学がオススメ。力学などの基礎科目を学んだ後、機械設計や材料、制御や加工など、機械をつくるための知識を一通り身

に付け、実際の製作に取り組む。

実習・実験科目も多く、CAD（コンピュータによる設計や製図をするためのソフト）を駆使して機械を製作するなど、手を動かしながら“ものづくり”を追究できる。

「機械いじりが好き」「ものをつくるのが好き」という人には心ゆくまでその楽しさを味わえる。

52 電気・電子・通信工学



機械の生命線ともいえる電気の可能性を探る

ココが面白い

時には機械の「動力」、時には情報伝達の「手段」となるのが電気だ。どんなに優れた機械でも、電気がなければ、動かすことも制御することもできない。

電気・電子・通信工学では、「動かす」「制御する」「情報を伝達する」という3つの視点から、電気について学ぶ。

基礎科目で電気のメカニズムを学んでから、実習科目で電子回路を製作する。自由な発想でテーマを定め、創意工夫を凝らしながら電気の可能性を追究する学問だ。

53 情報工学



人の暮らしに役立つ コンピュータ技術を学ぶ

ココがおもしろい

情報工学は、ハードとソフトの両面からコンピュータの機能向上をめざす学問だ。コンピュータのしくみを理解し、プログラミング言語を習得。土台となる専門知識

を身に付けたら、研究テーマを決める。

テーマは多種多様だ。人工知能やロボット工学をテーマに選ぶ学生もいれば、画像処理に関する研究を行う学生もいる。情報工学の知識を暮らしに役立てるために、「情報工学でこんなことができる」という発見を形にしていこう。

54 建築・土木・環境工学



より快適な町のために 住まい、橋、道路などを造る

ココがおもしろい

建築・土木・環境工学で扱うのは、住宅や商業施設などの建築物や、橋や道路などの土木だ。構造設計や意匠設計などの科目を学び、実習科目で設計や製図の技術を修得

する。

水質汚濁や大気汚染などの環境問題に向き合い、環境改善のための技術に取り組む研究もある。斬新なデザインの建物の設計や、都市の緑化を研究することもある。「より便利な、より快適な町」をイメージしながら、建造物や都市計画をつくる楽しさを味わえる。

55 応用物理学



物理の知識を応用し 社会に役立つ技術を開発

ココがおもしろい

物理学の原理や知識を生かして、社会に役立つ新たな技術を開発することが、応用物理学の目的だ。電磁気学や量子力学などの基礎科目に加えて、物理の基礎知識を応

用するために必要な科目も学ぶ。

物理学の研究で新たに発見された法則を社会に生かすため、研究機関や企業と共同開発をする大学も少なくない。「実験・分析・検証を重ねながら研究成果を挙げる」という醍醐味^{だいごみ}に加えて、最先端の技術を生み出すという、かけがえのない喜びが味わえる。

56 応用化学



化学の知識を応用し 新しい物質を開発する

ココがおもしろい

応用化学では、化学の研究で得た発見を基に、新しい物質の開発に取り組む。応用化学の基盤となる科目は、有機化学、無機化学、物理化学、分析化学だ。現代化学

の基礎知識を身に付けた後、化学の知識を応用する方法を学ぶ。

次世代の最先端機能材料を開発したり、既存の化学物質を従来にはない方法で活用したりするなど、研究テーマは多彩だ。「有害な物質を発生させない方法」「廃棄物を減らす方法」など、新技術の開発に挑戦することもできる。

57 生物工学



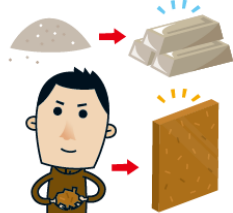
遺伝子や細胞の研究を さまざまな分野に応用

ココがおもしろい

生物工学は、生物学の知識を応用して技術開発をする学問で、バイオテクノロジーともいわれる。遺伝子工学と細胞工学が2大研究分野だ。遺伝子工学ではDNA組

み換えの新しい技術を開発、人に役立つ作物を作り出すことができる。細胞工学では、細胞培養や細胞融合などの技術によって、細胞の性質を変えたり、有用物質を生産したりできる。医療、健康、食品、化粧品、化学製品など、幅広い分野に研究成果を生かすことができるのも、生物工学の魅力だ。

58 金属・材料工学



新しい機能を持った 材料を開発する

ココがおもしろい

金属・材料工学は、鉄やアルミニウム、合成樹脂やセラミックスなど、機械を構成する部品の「材料」について研究する学問だ。さまざまな材料の物性を理解し、材

料の製法や加工方法を学ぶ。

金属・材料工学を学ぶ楽しさは、何といっても、材料の特性を高めたり、新しい機能を持った材料を開発できたりすることにある。「今、大学で研究している技術が、近い将来、実用化されるかもしれない」というわくわく感で胸がいっぱいになるはずだ。

59 資源・エネルギー工学



限られたエネルギーを いかに活用するか

ココがおもしろい

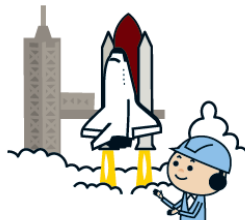
資源・エネルギー工学では、鉄や銅などの鉱物資源や、石油・石炭・天然ガスなどのエネルギー資源に関する研究を行う。資源を探索・採掘する方法や加工法、資源

を利用する方法、さらには再利用の技術などを学ぶことができる。

また、近年は風力や地熱など、環境に優しいクリーンな自然エネルギーに注目が集まっている。

限られた資源を守るためにも、また環境問題の点からも、資源・エネルギー工学の研究が社会に果たす役割は大きい。

60 航空・宇宙工学



空や宇宙への情熱を 研究に込めよう

ココがおもしろい

飛行機や宇宙機の開発がしたいのなら航空・宇宙工学を学ぶことが必要だ。材料力学や空気力学、熱力学などの基礎科目を履修し、機体やエンジンの設計技術を学ぶ。

巨大な機体の研究に携わるため、ダイナミックな楽しさが魅力だ。「さらに軽い機体をつくる」「より高速な飛行機を設計する」など、新しい研究にもじっくり取り組める。

パイロットをめざすなら、専門の養成コースでフライトシミュレーターによる操縦訓練や、実機を使った実習を行う大学もある。

61 船舶・海洋工学



海の特徴を理解し 船舶の研究に打ち込む

ココがおもしろい

船舶・海洋工学では、船舶や海洋構造物に関する研究を行う。地上を走る自動車や電車に比べると、船舶や海洋構造物は「水の抵抗を受ける」という大きな特徴がある。

そこで、構造力学や材料工学、流体力学などの基礎科目を学び、船体設計や海洋構造物の設備設計などの技術を身に付ける。大型船舶だけでなく、近年の海洋レジャーの人気の高まりとともに、ウォーターフロントのレジャー施設やレジャー用船舶などの研究・開発にも学びの領域は広がっている。

62 商船学



安全かつ最適に 船を運航する方法とは

ココがおもしろい

船舶・海洋工学が船や海洋構造物の研究を行うのに対し、商船学では、「船の運航や海運」に焦点を当てた研究に取り組む。「最も効率のよい経路で、安全に船を操

縦する方法」を考えるのが大きなテーマだ。履修科目は、船を運航する航海学や、船のエンジンや制御部分を理解する機関学、船舶のしくみを理解する船舶構造論など。日本では、国際貨物輸送のほとんどを海上輸送が占めているために、「物流の根底を支える」というやりがいを感じられる学問だ。

63 経営工学



経済活動を支える 技術を開発する

ココがおもしろい

経営学と工学を掛け合わせた経営工学は、生産性を高める方法について考える学問だ。例えば、工場での生産工程や人員配置、コスト削減をどう実現するかなど。そ

の研究のために、経済学や心理学、数学、物理学などの基礎科目、プログラミング、生産工学、生産管理などの専門科目を学ぶ。

最近は企業経営だけでなく、金融を含む経済活動全般が研究対象になっており、経営工学の研究手法を用いて、経済のあらゆる問題にアプローチできる。

64 工業デザイン



時代が求める製品を デザインする

ココがおもしろい

デザインは、製品の価値を決める要素の一つ。工業デザインでは、自動車や家電のような大型の工業製品から、食器や清掃用具などの日用雑貨まで、工業製品のデザイ

ンに関する知識と技術を学ぶ。

工業デザインで大切なのは、機能性や使いやすさを考慮すること。「誰にとっても使いやすいデザイン」を意味するユニバーサルデザインは、その一例だ。今、消費者は何を求めているかを考え、デザインという形にしていく点が、この学問のおもしろさだ。

65 農学



農作物を生産し 大地の恵みを感じる

ココが面白い

農学では、栽培、害虫の駆除、品種改良、土壌の研究など、「安全でおいしい作物を効率よく育てる方法」を考える。農学の理論や基本的な知識を学んだ後に、実際

に農場で野菜や果物、コメなどの農作物を育てる実習・演習科目を履修する。

研究対象が農作物のため、天候や気温などに左右されることもあるだろう。だが、種まきから収穫まで農作業を一通り体験できるのは、農学ならではの喜び。大地の恵みを体感できる学問だ。

66 森林科学



森を守りながら 活用する方法を考える

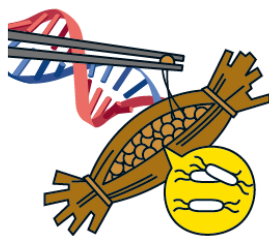
ココが面白い

森林から伐採した木材は、建築資材や紙の原料として用いられており、私たちの生活に欠かせない資源である。環境破壊を抑え、地球の生態系を守るためにも、慎重

に森林資源を利用することが重要だ。そのため、森林科学の学びは「森林の保護」と「森林の活用」の2つの側面から捉えることができる。

また、森林を支える土壌や川に関する研究や、樹木の遺伝子を分析することもできる。地域ごとに異なる生態系を研究するのも楽しいだろう。

67 農芸化学



化学の知識を生かして 食物の可能性を引き出す

ココが面白い

農芸化学は、化学の知識を農産物や水産物、畜産物に応用する学問分野だ。生物学や栄養学などの関連知識も生かしながら、品種改良や生産量の向上、人体に影響の

少ない農業、食品の発酵などの加工法を研究する。研究室によっては、企業や官公庁との共同研究を行っているところもある。

食物に含まれる成分を分析し、その特性を高めれば、機能性の高い食品に加工できる。未来の食品業界に役立つような「最先端の研究に携われる」喜びがある。

68 農業工学



農業環境を改善し 自然との共存を考える

ココが面白い

農業工学は、工学の手法を使って農産物の生産技術を高め、農地の環境を整備する方法を研究する。例えば、作物を傷めずより速いスピードで収穫できる農業機械があ

れば、農作業は一気に効率化できる。また、土壌の栄養状態が改善されれば、農作物の育ちがよくなる。治水など水環境の整備も重要だ。このように、さまざまな工夫を凝らすことにより、農作業を行う環境を改善できる。環境保全や資源の有効活用につなげることも、農業工学の目的だ。

69 農業経済学



農業の社会的・経済的問題を学ぶ

ココが面白い

農業の目的は、安全でおいしい農産物を生産することだ。しかし、おいしい農産物ができても、消費者に届かなければ、利益は出ないし、農家の経営は成り立たない。

農業経済学では、農業経営や農業政策、農業の市場動向などについて研究する。研究分野は国内にとどまらず、世界の農業経済や政策、農業貿易に関する研究もある。人々に安定的に農産物を供給し続けるためにも、農業に関する社会的・経済的問題を常に考えていくことが大切だ。

70 水産学



海洋資源を生活に生かす方法を考える

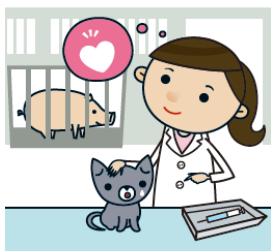
ココが面白い

周囲を海に囲まれた日本では、昔から水産物を大いに活用してきた。乱獲に伴う水産資源の減少など、海洋環境は大きく変化し、今までになく海洋資源について多角

的に考えなければならなくなってきている。海の恵みを人間生活に生かすための方法を探るのが水産学だ。

その領域は広く、漁獲法の開発や海洋環境の保全、水産物の養殖・加工などについて学べる。実習が重視され、大学の実習船で実際に海に出たりすることもある。

71 獣医学



動物の生命に寄り添い命を支える

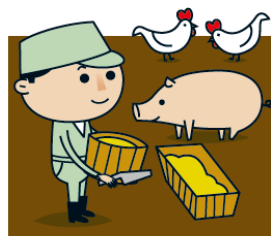
ココが面白い

獣医学は、獣医師の養成を目的としている。動物の体のしくみや病気の種類、病態などを学んだ後、動物病院で臨床実習を受けるというカリキュラムが一般的だ。牧場

で実習を行う大学も多く、家畜の世話をしたり、出産に立ち会ったりするなど、動物の生態をつぶさに知ることができる。解剖学や感染症学、寄生虫学、繁殖学などの専門分野の研究も可能だ。

卒業後、大学院に進んで研究を続ける学生も多い。何よりも動物が好きという気持ちが必要だ。

72 畜産学



食肉から化粧品まで命の恵みを活用する

ココが面白い

畜産とは、牛や豚、鶏などの家畜を飼育すること。日々の食事に肉料理がよく出てくることからわかるように、畜産物は私たちの食生活を支えている。

畜産学では、家畜の生態や飼育法を中心に、品種の改良や家畜の行動、食品への加工方法などを学べる。また、畜産物の皮や毛、内臓などは、革製品や医薬品、化粧品などに利用されている。生き物の命の重さを実感しながら、その命を大切に使う方法を考えることが、畜産学の根底にある。